

事業所名	足守荘グループホーム ※
日付	平成19年12月11日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります) ※	

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	<p>残された可能性や思いを大切にしたい援助を行い認知症の進行を防ぎ、1日でも長く生活して頂ける様に「入居者が主体となる・入居者が日々穏やかに過ごせる・コミュニケーションを重点に置き心のケアができる・入居者が望まれることを把握し対応できる・気軽にいろいろな方が立ち寄れるグループホーム」の理念を共有して一人ひとりの思いや意思を大切にしたいグループホームを目指しています。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	<p>居間や廊下など共用の空間は季節の飾り付けをするなどして温かい雰囲気作りを心掛け、居室は障子やカーテンなどで家庭的な環境づくりをして入居者一人ひとりに合わせた生活への支援に取り組んでいます。</p> <p>コミュニケーションを重視し、プライバシーに配慮した介護を心がけ、入居者のあるがままを受け入れてその人らしい生活への場づくりに取り組んでいます。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評
全体を通して (特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> 母体は社会福祉法人 (義風会) で在宅系・施設系サービスも充実しており、又関連の医療法人 (雄風会) と連携が取れていて共通の理念を「生きがいの探究・生きがいの創造」と定め「生きがい」をキーワードとしている。また、グループホームの理念「入居者が主体となる・入居者が日々穏やかに過ごせる・コミュニケーションを重点に置き心のケアができる・入居者が望まれる事を把握し対応できる・気軽にいろいろな方が立ち寄れるグループホーム」を心がけ、より良いサービスの向上に取り組んでいます。 入居者主体の支援を心掛け身体機能の低下防止・維持向上に努めており、セラビードックによる筋力低下の防止や心身の安定を図るなどの取り組みもされています。 職員間のコミュニケーションがよく取れていて入居者一人ひとりの人権を尊重し能力に応じた支援がされており、和やかで個性豊かな生活への取り組みがなされています。 計画書・個人記録・介護日誌・その他、諸々の書類もわかり易く整理されています。また全職員が情報を共有し確実な申し送りへの取り組みがされています。
特に改善の余地があると思われる点
特にありません。

III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<p>生活暦を活かし残存能力を引き出す様な場面づくりと、その人に合った日常生活 (台所仕事・掃除・洗濯物など) が送れるよう取り組んでいます。</p> <p>人格を尊重し一人ひとりのペースに合わせた支援 (食事・排泄・入浴・整容・安眠など) を心掛けています。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<p>毎日の気付き・申し送り・全員参加によるワーカー会議での課題検討・担当者会議と、日々の対応の中で細かい事にも目を向け大事に発展しないよう努力しています。</p> <p>職員の採用時研修と年1回の定期研修の他に月1回内外の講師による勉強会、また併設との合同で行なう認知症の勉強会など常にサービスの質の向上に向けた取り組みがされています。</p>		